

8月22日（金）午前中に「地域支援研修会」 午後に「西濃圏域がやがやのびのび相談会」を実施しました。

「令和7年度 西濃圏域地域支援研修会」

「児童生徒の自立を支えるためのキャリア教育—本人にとっての学びの意味付けを図るための振り返りと対話—」という演題で、弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻 菊地一文氏から講話をいただきました。

受講された先生方から「特別支援教育の観点からもキャリア教育を通して、主体的・対話的で深い学び、エージェンシーなどの諸概念が整理できました。また、教師としての見取りや教師自身の学びや成長が大切であることも再認識することができました。」「特別支援教育においてはキャリア教育がより大切になってくると思うので、小学校の勤務ですが 対話を通して子どもたちにどうして学ぶのか、どんな自分をめざすのか、を意識させていくことを実践していくように心掛けていくようにしたいと思いました。大変有意義な時間になりました。」等の感想がありました。



「西濃圏域がやがやのびのび相談会」

岐阜県下の小・中学校の特別支援学級や通級教室を担当している先生方や西濃圏域特別支援学校のコーディネーターの先生が集まり、座談会を行いました。それぞれが日頃抱えている悩みや自立活動についてなどを話していただき、大変有意義な会になりました。

参加者の方から「特別支援学校の先生方や他の市町村の通級指導の先生方から今後役立つお話を伺うことができたり、高校の通級について詳しく知ることができたりしてとても有意義な時間になりました。一番知りたかった中学卒業後の進路についてもくわしく教えていただけたので、とても助かりました。」「特別支援学級、小学校通級、中学校通級、高校通級、特別支援学校、高等特別支援学校などの現状を知ることができました。」

来年度も実施を予定していますので、関係の皆様にはご参加していただきたいと思えます。

